

「お互いが寄り添いあえる社会を目指して」

～障がいと共に生きる人生と将来のビジョン & 今後の自動車社会について～

「車いすバスケットボールと 共に生きる。」



塚本 京子さん 群馬県在住
(つかもと きょうこ)

パラリンピアン
車いすバスケットボール元日本代表

交通事故後、車いすバスケットボールと出会い1984年 ニューヨーク・アイレスベリーパラリンピックから6大会連続出場し、2つの大会で銅メダルを獲得された。現在は、車いす女子バスケットクラブチーム『ELFIN』の選手として、後進の育成に力を注いでいる。

「高次脳機能障がいを負った息子と共に 歩んだ日々 そして今後のビジョンについて」



反町 由美さん 群馬県在住
(そりまち ゆみ)

反町 公紀さん
(そりまち まさとし)の母

ラグビー少年だった公紀さんは、中学1年生のときに自動車事故に遭い、脳損傷による高次脳機能障害と身体の右側に麻痺が残った。リハビリの一環で陸上競技を始め、2017年のアジアユースパラ競技大会では100m、200mで銅メダルに輝く。由美さんは、高次脳機能障害について多くの方々に理解を深めてほしいと願っている。

「自動車性能の進化と今後のビジョンについて」

株式会社 SUBARU (群馬県)

車両安全開発部 主査 佐々木 淳さん(ささき じゅん)

2002年(株)SUBARUに入社。技術本部 車両研究実験第2部に配属後、自動車の前面衝突性能開発に従事。2009年から1年半の間はトヨタ自動車(株)で協働開発車の前面衝突性能開発に携わり、2022年からは死亡交通事故ゼロ実現に向けた市場事故調査、技術開発全般を統括。



シンポジウム

各講演者とナスバ
群馬支所職員との
シンポジウム

開催日

11月7日(木) 13時30分

16時30分終了予定

会場

高崎市総合福祉センター 2階：たまごホール
(高崎市末広町 115-1 ☎027-370-8822)

参加料
無料

主催 ナスバ(独立行政法人自動車事故対策機構) 群馬支所

後援 国土交通省群馬運輸支局、群馬テレビ株式会社、株式会社上毛新聞社、株式会社ラジオ高崎



めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。

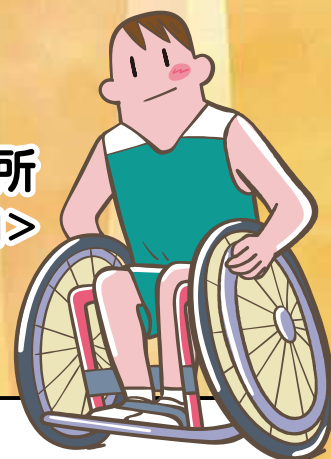
申込方法

ナスバ（独立行政法人自動車事故対策機構）群馬支所

<担当：嶋田、石山、梅田>

FAX：027-365-2771 電話：027-365-2770

メール：gunma-soudan@nasva.go.jp



申 込 書

お名前（フリガナ）	
お名前（漢 字）	
電 話 番 号	
会 社 名 等	
お名前（フリガナ）	
お名前（漢 字）	
電 話 番 号	
会 社 名 等	
お名前（フリガナ）	
お名前（漢 字）	
電 話 番 号	
会 社 名 等	

当日の受付は、12時より開始いたします。



めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。